

2025

KYOJO CUP
RACE REPORT

Rd.4

10.11 [sat] - 12 [sun]

[place] 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

[weather] sat 雨 / sun 曇り

[spectators] 発表なし

Rd.1 MAY 10-11

Rd.2 JUL 19-20

Rd.3 AUG 16-17

Rd.4 OCT 11-12

Rd.5 NOV 08-09



TOM'S

目まぐるしく変わる天候に翻弄されたRound4。 斎藤愛未はファイナルで追い上げて2位表彰台を獲得。 バートン・ハナはライバルと接戦の末、10位入賞。

QUALIFYING/SPRINT

2025 KYOJO CUP Round4 が10月11日(土)・12日(日)にスーパーフォーミュラと併催で行われた。木曜・金曜の練習走行ではドライコンディションで斎藤愛未が好調な走りをみせていたが、土曜日は一転して雨模様となり、コースオフ車両が続出する波乱の展開に。バートン・ハナが6番手、斎藤が7番手からスプリントに臨んだ。

セーフティカー先導で始まったスプリントでは、混戦のなかで斎藤が追い上げて5位でフィニッシュ。ハナはライバルと接戦のバトルを繰り広げて8位を獲得し、ファイナルでの巻き返しを狙う。

QUALIFYING

●天候: 雨 ●気温: 18℃ ●路面温度: 20℃

SPRINT

●天候: 雨 ●気温: 17℃ ●路面温度: 20℃



FINAL

●天候: 曇り ●気温: 22℃ ●路面温度: 24℃

前日に降り続いた雨の影響で、路面の一部が濡れているなかで始まったファイナル。5番手スタートの斎藤は、1周目の混戦でライバルの隙をついて、3番手にポジションアップ。そのまま前方のライバルに迫っていき、7周目のTGRコーナーで2番手に浮上した。そのままトップを追いかけたが、惜しくも逆転はならず2位表彰台を獲得した。

8番手からスタートしたハナは、序盤の混戦で順位を下げるが、中盤以降は好ペースで周回し、最後は前方のライバルに迫る走りを披露。しかし、順位を取り戻すまでには至らず10位でチェッカーを受けた。



BigBoss W TEAM TOM'S

1



AIMI SAITO

Driver 斎藤 愛未

予選	7位
スプリント	5位
ファイナル	2位

Rd.4	Qualifying	P7 / 1'57.470
	Sprint	P5 / 1'58.040
	Final	P2 / 1'45.722

BigBoss W TEAM TOM'S

37



Big Boss W TOM'S KYOJO KC -MG01

HANA BURTON

Driver バートン ハナ

予選	6位
スプリント	8位
ファイナル	10位

Rd.4	Qualifying	P6 / 1'57.388
	Sprint	P8 / 1'58.898
	Final	P10 / 1'46.207



1



ドライバー 斎藤 愛未

ちょっと運がなかった週末でした。予選ではタイミングが合わない部分がありました。タイムを出しているライバルもいるので、自分の力不足だと感じました。ファイナルに関しては、スタートでTGRコーナーの外側が乾いていたのですが、みんなは濡れている内側に集まっていったので、冷静に状況をみて追い抜くことができました。ただ、その後はもう少し頑張らないといけないなという展開でした。次は最終戦になるので、今度こそファイナルで勝ちたいです。



監督 三浦 愛

予選がドライコンディションであれば、もう少し上に行けたかなというタラレバはありますが、いつもドライでレースができるわけではないので、本人の雨に対する苦手意識を克服しなければなりません。そういう意味では、今年は彼女にとって試練の年で、いかに乗り越えていくかが課題です。それでも、スプリントとファイナルでは難しいコンディションのなか順位を上げて、ゴールできたのは良かったです。

37



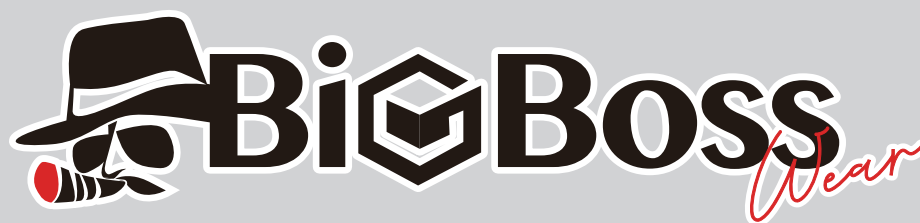
ドライバー バートン ハナ

予選は自信がありましたが、赤旗の影響でちゃんとアタックができず、終盤はクルマの電源が落ちるトラブルでコース脇に止まることになりました。スプリントは水飛沫のなかでうまく走ることができていなかったですし、ファイナルでも課題が多かったです。毎回レースをするたびに、自分の実力不足を実感して悔しいです。課題を克服するためにどうすればいいかを考えても、スプリントを含めて8レースが終わったなかで、あまり成長できていないです。



監督 伊藤 大輔

予選では赤旗の影響で満足のいくタイムアタックができなかったのですが、そんなに雨量が多くないウエットでの走りは、非常に良かったと思います。ただ、レースになると水飛沫で視界が良くないなか、周りにクルマがいる状況をあまり経験していないので、本来の走りができないまま終わった印象でした。ファイナルも同様で、周りにクルマがいることを気にしすぎて順位を下げる場面がありましたが、後半は自分のペースで走っていました。経験不足なところではありますが、課題を克服できるよう、引き続きサポートしていきます。



熊本トヨペット

カロしず
カローラ静岡